

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国語Ⅱ A	
科目基礎情報							
科目番号	0030		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	「新 精選現代文B」(明治書院)、「新 精選古典B 古文編」(明治書院)、「新 精選古典B 漢文編」(明治書院)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)						
担当教員	薄井 信治						
到達目標							
・ 文章や詩歌の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける(復習カード、定期試験) ・ 常用漢字の読み書きができる(小テスト) ・ 詩歌の鑑賞文を指定の形式で書ける。「4行読書感想カード」が書ける。(レポート) ・ 問題の考え方や解き方を身に付ける(定期試験、口頭試問、復習カード)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	復習カードに、要点を適切な説明文で3行以上、3つ書ける。		復習カードに、要点を3行以上、2つ書ける。		復習カードに、要点を箇条書きで3行以上、3つ書ける。		復習カードが提出できない。
評価項目2	口頭試問に9割以上正答できる。		口頭試問に8割以上正答できる。		口頭試問に7割以上正答できる。		口頭試問に5割しか正答できない。
評価項目3	短歌の鑑賞文を指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。		短歌の鑑賞文を指定の形式と字数で書ける。		短歌の鑑賞文を指定の形式で書ける。		短歌の鑑賞文を提出できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第2学期開講。 検定教科書を用いて、評論文を重点的に読むことで、論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、思考する力を高めていく。						
授業の進め方・方法	教科書本文の読解をし、内容理解の確認のために口頭試問を行う。						
注意点	教科書とノートを忘れずに持って来なければならない。そうしなければ、教科書本文から答えを探す問題や前回ノートに書いたことを答える問題ができずに、口頭試問点が減点になる。 「復習カード」は授業のポイントを3行程度の短い説明文にすることで、要点をまとめる力、短文を書く力を身につけるために行う。感想や反省を書くのではなく、説明文を書くのである。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス (評論1) ①		「脳のなかの古い水路」を読むことで、パラグラフ・リーディングが理解できる ・ 全体の構造が重要であることが理解できる ・ 論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・ 指示語の指示内容を説明できる ・ キーワードを説明できる ・ トピック・センテンスとトピックを理解できる ・ 筆者の意見を要約できる		
		2週	(評論1) ②		パラグラフ・リーディングが理解できる ・ 全体の構造が重要であることが理解できる ・ 論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・ 指示語の指示内容を説明できる ・ キーワードを説明できる ・ トピック・センテンスとトピックを理解できる ・ 筆者の意見を要約できる		
		3週	(評論1) ③		パラグラフ・リーディングが理解できる ・ 全体の構造が重要であることが理解できる ・ 論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・ 指示語の指示内容を説明できる ・ キーワードを説明できる ・ トピック・センテンスとトピックを理解できる ・ 筆者の意見を要約できる		
		4週	(評論2) ①		「科学と世界観」を読むことで、パラグラフ・リーディングができる ・ 全体の構造が理解できる ・ 論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・ 指示語の指示内容を説明できる ・ キーワードを説明できる ・ トピック・センテンスとトピックを理解できる ・ 筆者の意見を要約できる		

2ndQ	5週	(評論 2) ②	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	6週	(評論 2) ③	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	7週	(評論 2) ④	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	8週	(短歌) ①	短歌の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。 ・日本語のリズムを理解し、そのリズムで音読できる ・文法事項を理解し、短歌を正確に鑑賞できる
	9週	(短歌) ②	短歌の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。 ・日本語のリズムを理解し、そのリズムで音読できる ・文法事項を理解し、短歌を正確に鑑賞できる
	10週	(短歌) ③	短歌の読解の仕方を理解し、鑑賞文を書くことができる。 ・日本語のリズムを理解し、そのリズムで音読できる ・文法事項を理解し、短歌を正確に鑑賞できる ・鑑賞文を指定の様式で書くことができる
	11週	(評論 3) ①	「いのちのかたち」を読むことで、パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	12週	(評論 3) ②	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	13週	(評論 3) ③	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	14週	(評論 3) ④	パラグラフ・リーディングができる ・全体の構造が理解できる ・論理マーカーを利用して、パラグラフの論理構造を理解できる ・指示語の指示内容を説明できる ・キーワードを説明できる ・トピック・センテンスとトピックを理解できる ・筆者の意見を要約できる
	15週	定期試験	
	16週	試験返却・解説	試験解説により、問題の解き方を理解する

				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合						
	試験	小テスト	レポート	口頭試問	復習カード	合計
総合評価割合	60	10	10	10	10	100
知識の基本的な理解	40	10	10	10	10	80
思考・推論・創造への適用力	20	0	0	0	0	20
汎用的技能	0	0	0	0	0	0